



# 子供が自立し

# みんなの活躍で創り上げる学校



主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

## 前期のまとめを!

このところ、朝晩の冷え込みが寒いくらいになりました。これまでずっと、熱中症警戒アラートが出続けて、子供たちは外での活動が制限されてきました。空は晴れているけど気分は晴れない。そんなストレスがたまっていたことと思います。これからは勉強にもスポーツにも良い季節になります。是非、前期のまとめをしてほしいと思います。

- 新しく習った漢字は、書いたり読んだりできるか。そして、文章の中で正しく使うことができるか。
- 新しく習った言葉(合同、角度、線対称、要点、主語、新月、八方位・・・)は意味を理解し説明できるか。
- 新しく習った方法(分度器の使い方、時計の読み方、筆算の仕方、方位磁針の使い方、辞典の使い方・・・)は手順が頭に入っているか。生活の中で必要に応じて使うことができるか。
- 自分の健康や体力を高める取組(早寝早起き朝ご飯、歩いて登校、よくかんで食べる・・・)を実践したか。それを続けているか。

重要なのは、実は下線部。つまり、学んだことが血となり肉となっているか?ということです。

6年生が今国語で宮沢賢治の「やまなし」という物語を学習しています。「やまなし」には、「上」という1年生で習う漢字が19回出てきますが、「うえ」と読むのは9回、「のぼ(る)」と読むのは5回、「あ(がる)」と読むのが3回、「かみ」と読むのが2回の19回なのです。状況に応じて読み方を変えなければなりません。

「上(かみ)」があれば、当然「下(しも)」もあり、このことから川の流れがイメージできます。流れの中でカニの兄弟が泡をはくのです。そして「上(うえ)」に対して「下(した)」があるから、川面(カニにとっては天井)と川底が描けます。そうやって宮沢賢治の描く世界を自分の頭の中に忠実に描き出す、そうしなければこの物語は面白くもなんともないものになってしまいます。宮沢賢治は、物語の冒頭、「これは小さな谷川の底を写した二枚の青い幻灯です。」と書いています。そうです。宮沢賢治は、一人、暗い部屋の中で映し出される2枚のスライド写真を見ているのです。

秋の夜長、読書の秋、お子さんといっしょに、宮沢賢治をもう一度読み返してみたいはいかがでしょうか。

## 大人も子供も本気の6年親子レクリエーション

9月21日(土)から22日(日)にかけて、万田小学校でキャンプをするという、6年生の親子レクリエーションがありました。企画から準備、運営まで、全て有志の保護者によって行われました。クイズ大会あり、水鉄砲合戦あり、肝試しあり、学校を舞台とした「かくれんぼ」あり。そして食事は、学校の家庭科室を使って保護者が腕を振ってくれたとのこと。大人が本気になれば、ここまでクオリティの高いキャンプができるのかと感心させられました。子供たちも大はしゃぎ。興奮冷めやらず、夜は遅くまで起きていて、保護者の方を困らせたとか。学校からは、2人の担任に加え、教頭先生にも学校に泊まってもらいました。職員室の寝心地ってどうなのでしょう。後で、教頭先生に聞いてみます。



## ご褒美のダンス大会

10月2日(水)昼休み、4年生がダンス大会を開きました。先日「校長先生も観に来てください。」とチラシを持ってきたので、行ってみました。

聞くと、学級力向上プロジェクトで、自分たちの目標を達成したから、ご褒美にダンス大会を開いたとのこと。ですからノリノリです。身体の動かし方もリズムの取り方も、今どきな感じで、なんだか子供たちとの距離を感じてしまいました。オクラホマミキサーやマイムマイムとはかなり違います。当たり前ですけど。

「好きこそものの上手なれ」この中から、将来有名なダンサーになる人もいるかもしれません。サインでももらっておこうかな。

## お知らせ

○交通安全ポスターの入賞者決定のお知らせがありました。今年度の交通安全協会賞(最高賞)に5年生の 徳永 晃昭さんが入賞しました。他にも、ファミリー賞の佳作に、1年生の さこう さな さん、1年の部特選に まつおか のん さん、4年の部特選に 西浦 光璃 さん、同じく入選に 金澤 穂香 さんが入賞しております。

ポスターの展示予定は、次のとおりです。

- ゆめタウンシティモール(図書館付近)・・・10月1日～10月11日 開店時間内(11日は15時まで)
- 長洲町役・・・10月16日～10月25日 平日 9時～16時(25日は15時まで)
- 荒尾警察署・・・10月28日～12月27日 平日 9時～16時

